

# 令和6年度調達改善計画の上半期自己評価（概要）

## 重点的な取組

### ▶ 長期契約を活用した装備品等の調達

以下の案件を契約締結し、約135億円の経費の縮減効果を得た。

①輸送ヘリコプター（CH-47JA）12機

縮減額： 約▲19億円※ （約▲15.6%）

②輸送ヘリコプター（CH-47J）5機

縮減額： 約▲7億円※ （約▲15.3%）

③F110エンジンの維持部品包括契約1式

縮減額： 約▲109億円 （約▲14.0%）

※①及び②は、搭載通電機器の一部の契約であるため、長期契約法に基づく上半期における縮減額である。

## 共通的な取組

### ▶ 調達事務のデジタル化の推進

定型的な事務作業の自動化により、525件の物品の調達業務に必要な書類・メールの作成、185件の調達情報を更新した。

## その他の取組

### ▶ 少額随意契約の更なる改善

調達内容をホームページ上で公開し、見積書を公募したことなどにより、延べ424者の新規事業者が参入した。

### ▶ 事業者の準備期間及び契約履行期間の確保

事業者へのアンケート調査やヒアリングを実施し、契約履行に必要な期間を十分に確保したことなどにより、8件の一者応札を改善した。

以上、令和6年度の取組について、各会計機関が着実かつ適切に実施